

7月15日(木曜日)

ドル/円

米中の景況感を確認

14日(水)の主な推移

チャート: 30分足 14日(水)朝6時 ~ 15日(木)朝6時

ダウ平均株価

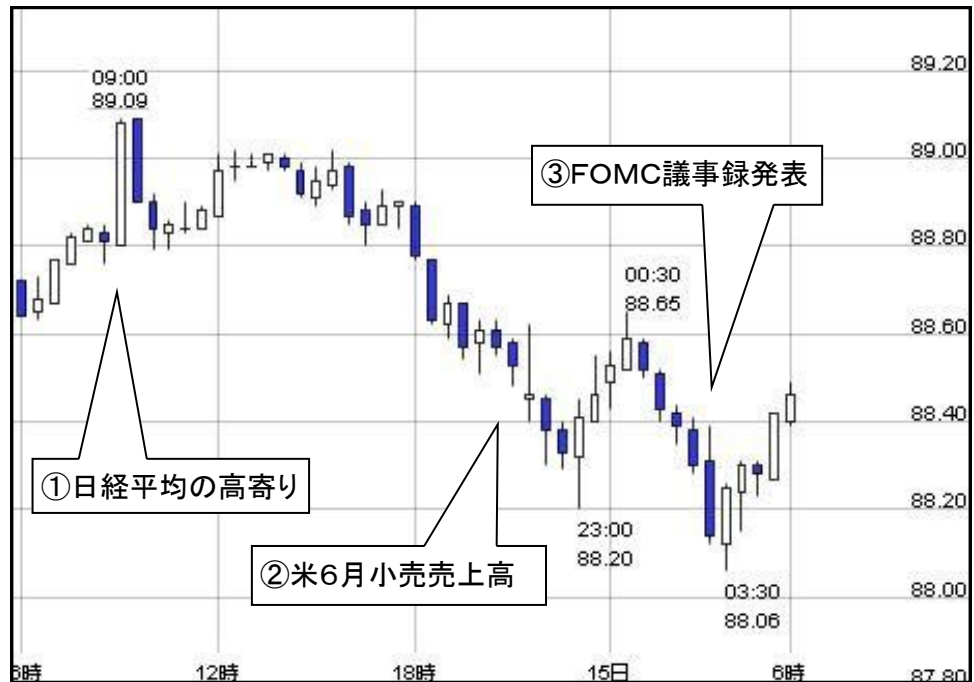
10366.72ドル
(+3.70ドル)

米長期金利
(10年債利回り)

3.0499%
(-0.0728%)

NY原油先物

77.04ドル
(-0.11ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所: 外為どっとコム

- ① 早朝5時過ぎに発表された米半導体大手インテルの好決算を背景にダウ平均株価先物が上昇すると、日経平均が大幅高で開始。これを受けてドル/円は一時89円台に乗せた。ただ、89円台では円買い圧力も強く、上値の重い状態が続いた。
- ② 英・独の株価が軟調に推移する中、クロス円(ユーロ/円など)で円高が進むと、ドル/円でも円買い優勢となった。21時30分発表の米6月小売売上高は-0.5%と、市場予想(-0.3%)よりも弱い結果となった。ドル/円は発表直後に下落するも、自動車および燃料などを除いた数値が+0.1%と予想(±0.0%)をわずかに上回っていたことを受けて乱高下した。ただ、同時発表された米6月輸入物価指数が前月比-1.3%と市場予想(-0.4%)を大幅に下回ったことから、次第に米長期金利が低下すると、ドル売り・円買い優勢の展開となった。
- ③ 日本時間15日3時頃に発表された米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録にて、「金融状況の変化の結果、参加者の大半は自身の経済成長見通しを多少下方修正」「見通しが目立って悪化した場合にさらなる政策刺激が適切かどうか検討する必要」との米連邦準備制度理事会(FRB)の見方が明らかになった上、FRBによる2010年の米国内総生産(GDP)見通しが+3.0-3.5%(前回:+3.2-3.7%)と下方修正された事などもあり、ドル/円ではドル安・円高が進行。4時前に88.06円の安値を付けた。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 87.80- 89.10円

本日も引き続き、米国の足元の景況感や経済の先行きについての思惑をテーマに、ドル/円は主要国株価や米長期金利の方向性に連れる公算だ。本日はアジア時間に中国の主要経済指標が同時に複数発表される上、米国でも主要企業の決算や主要経済指標が相次いで発表される。本日はこれらの内容を一つ一つ確認しながら、リスクを取ることに對する姿勢を確認する流れになるだろう。ただ、昨日の米小売売上高やFOMC議事録を受けてリスクに對する警戒感が高まってきているため、市場が予想したよりも経済が弱いことを示す結果が出れば、より神経質にリスク回避(円買い戻し)の方向で反応するものと考えられる。

下記注目イベントの他、本日は日銀の金融政策委員会による金融政策発表が行われる(発表時間は未定)。目新しい材料は出ない公算が大きく、市場の注目度は低いものの、参院選で過半数割れした与党サイドから日銀に緩和圧力を掛ける様な発言が出て、取引の手掛かりにされる可能性は否定できない。要人発言にも気をつけておきたいところだ(ジェルベズ)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/15(木)	11:00	○	(中) 第2四半期実質GDP [前年比]	+11.9%	+10.5%
	11:00	○	(中) 6月消費者物価指数 [前年比]	+3.1%	+3.3%
	19:30	◎	(米) JPモルガン・チェース第2四半期決算	—	—
	21:30	◎	(米) 7/11までの週の新規失業保険申請件数	45.4万件	44.5万件
	21:30	◎	(米) 7月ニューヨーク連銀製造業景気指数	19.57	18.00
	22:15	◎	(米) 6月鉱工業生産[前月比]	+1.3%	±0.0%
	23:00	◎	(米) 7月フィラデルフィア連銀景況指数	8.0	10.0

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com